

審査委員

県レクリエーション協会会長・明石一雄▽
 県民俗芸能保存協会会長・石井一躬▽国立映画
 画アーカイブ館長・岡島尚志▽社会福祉法人
 いきいき福祉会理事長・小川泰子▽平塚市美
 術館館長・草薙奈津子▽横浜こども専門学校

校長・佐々木悦子▽テレビ神奈川報道局長兼
 報道部長・嶋田充郎▽弁護士・水地啓子▽作
 家・辻原登▽ピアニスト・野島稔▽東京理科
 大学学長・藤嶋昭▽神奈川芸術劇場館長・眞
 野純▽県立近代美術館館長・水沢勉▽横浜国
 立大学名誉教授・吉田綱市▽県議会議長・桐
 生秀昭▽横浜商工会議所会頭・上野孝▽県知
 事・黒岩祐治▽神奈川新聞社社長・並木裕之

輝く選手たち

第67回神奈川スポーツ賞が19日、発表された。
 国内外で功績を挙げて受賞した4人1団体の横顔
 を紹介する。(受賞者・審査委員会とも敬称略)
 =本記1面、今月下旬から連載で、功績を順次紹
 介します



2年連続日本一達成 富士通フロンティアーズ

「アメリカンフットボール」

1月のアメリカンフットボール
 日本選手権ライスボウルで2年連
 続3度目の優勝。母体は1984
 年発足の富士通グループの同好会
 で、85年に「フロンティアーズ」
 として正式にスタートした。
 東日本社会人選手権ハールボウ
 ル、日本社会人選手権東京スーパ
 ーボウルなど各大会で着実に結果
 を出し、2014年シーズンに念
 願のライスボウル初優勝を果たし
 た。
 その後もトップチームとして活
 躍するが、同時に「かわさきスポ
 ーツパートナー」として選手が地
 域貢献に率先して取り組んでい
 る。

長距離期待の星 栄冠

9月の国体少年女子共通4000m自由
 形で連覇。8月のパンパシフィック選手
 権では4000m自由形、15000m自由
 形で高校新記録をマークし、アジア大会
 では8000m自由形、15000m自由形
 で銅メダルを獲得。飛躍の1年だった。
 小学校から水泳を始め、中学3年まで
 は背泳ぎをメインにしていたが、湘南工
 大付高に進学後に自由形に転向。1年の
 インターハイで4000m、8000mの自
 由形2冠を獲得し、才能を開花させた。
 アテネ五輪金メダルの柴田亜衣選手の
 後継として、日本女子長距離界の期待の
 星だ。



小堀 倭加(18)

水泳

県の大黒柱 国体貢献

国体の競技別男女総合成績(天皇杯)
 連覇を達成した神奈川代表の大黒柱。今
 年の国体では、成年男子個人戦は予選6
 位から立て直しての準優勝。成年男子団
 体(2人チーム)でも連覇を果たした。
 日本代表にも選ばれ、その経験と技術を
 若手に伝授するなど、神奈川ボウリング
 の競技方向上に尽力している。
 中学から競技を始め、金沢総合高時代
 には国体少年男子個人戦で2度優勝。神
 奈川大に進学後も、全日本選手権やアジ
 ア大会などで結果を出してきた。全日本
 入りは2003年から。今では男子のキ
 ャプテンを務め、自身の競技に加え、若
 手指導者としても存在感を増している。



佐々木 智之(32)

ボウリング

日本選手権で2連覇

6月の日本陸上競技選手権男子1500
 0mで2連覇を達成した。中学時代から
 活躍し、中学3年時には「かながわ駅伝」
 の横浜4連覇に貢献。埼玉栄高では3
 年で全国高校駅伝の「花の1区」を任ざ
 れた。東海大進学後は1年から全日本大
 学駅伝などで好成績を残している。
 大学進学後からトラックの15000m
 に積極的に取り組む、今年度はセイコー
 ゴールディングランプリの男子15000m
 で日本人トップの3分40秒49をマーク
 し、アジア大会に出場した。スピードと
 スタミナを兼ね備え、2020年東京五
 輪を目指す。



館沢 亨次(21)

陸上

パラ国際大会で実績

6月、知的障がい者の国内最高峰の卓
 球大会「FIDジャパン・チャンピオン
 シップ卓球大会」で2連覇を果たした。
 小学校3年ころから「スポーツ文化セ
 ンター横浜ラポール」でフットサルやバ
 スケットボールなどに親しみ、中学から
 卓球を始めた。
 2年前にパラ卓球に本格的に取り組
 んだ国際大会でも実績を積み上げてきた。
 現在の世界ランキングは日本人最高の8
 位。10月の世界選手権にも日本代表とし
 て出場した。「自分が頑張って結果を残
 すことで、多くの人の励みになれば」



加藤 耕也(25)

卓球

神奈川スポーツ賞